

**RYOBI**

®

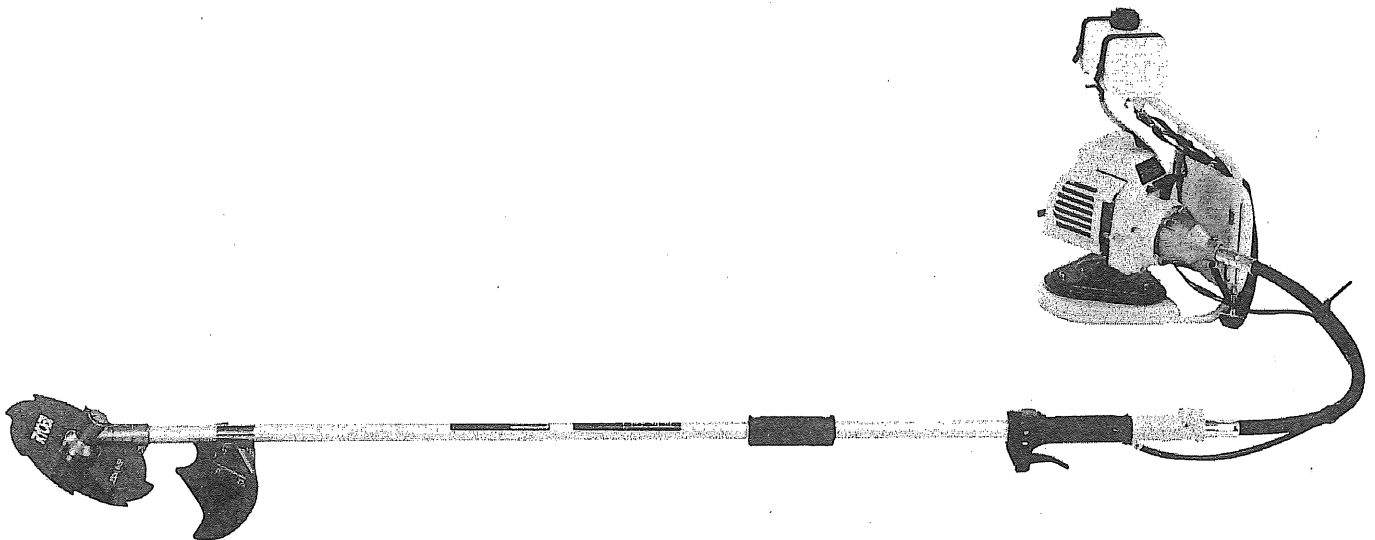
# エンジン刈払機

REK-285BP

## 取扱説明書

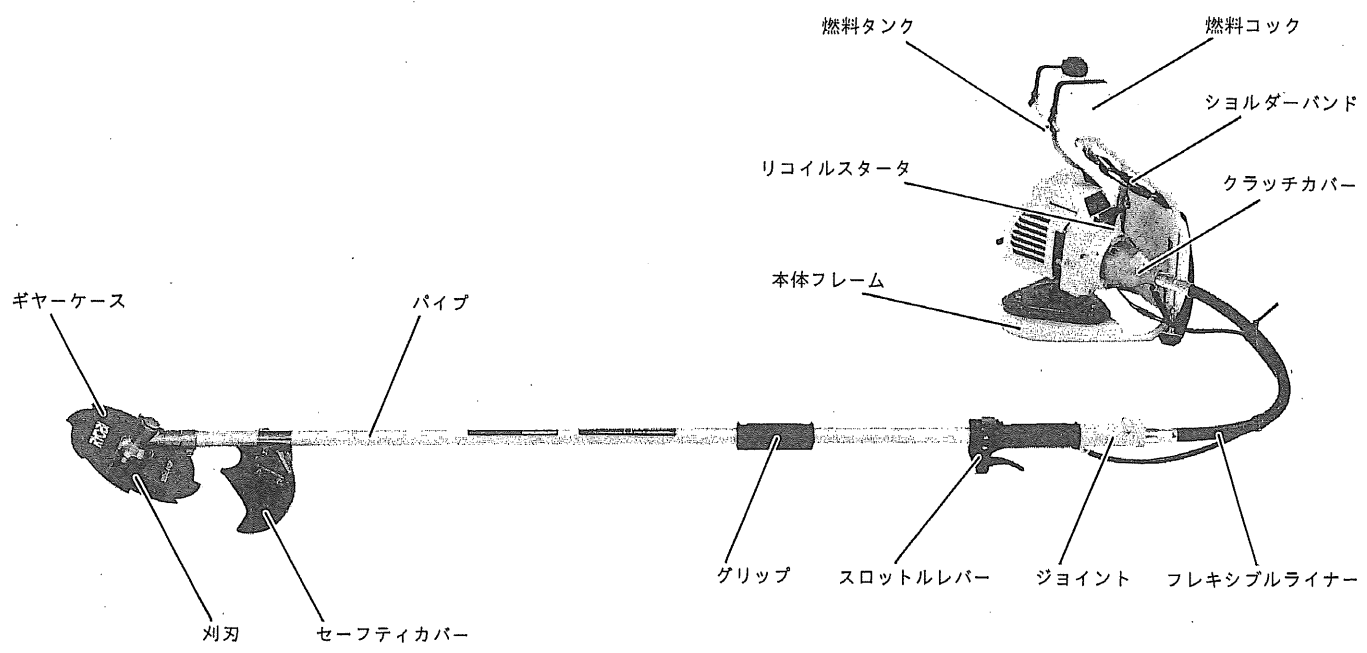
このたびは、リョービ刈払機をお求めいただきまして、  
まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度  
お読みください。



●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

# 各部のなまえ



## ●仕様

型 式		R E K - 285 B P	
寸 法	長さ×幅×高さ	cm	本体：長38×幅26×高49 操作桿：245
重 さ		kg	9.2
エンジン	型 式		空冷2サイクル単シリンダ
	排 気 量	cc	28.5
	最 高 回 転 数	r . p . m .	8000
	キ ャ ブ レ タ		ダイヤフラム式
	マ グ ネ ト		電子点火方式、フライホイールマグネト
	ス パ ー ク プ ラ グ		D J 8 J
	始 動 ・ 動 力 伝 達		リコイルスタータ、自動遠心クラッチ
燃 料	混 合 比		ガソリン20～25：2サイクル専用オイル1
	タ ン ク 容 量	ℓ	0.9
刈払装置	操 作		両手グリップトリガー式
	刈 刃		8枚刃 (230×1.4×25.4mm)

### ●通常付属品

- ⊕ドライバー付ソケット
- ショルダーバンド組立
- バッグ
- 混合容器(700cc)

- 六角棒スパナ
- コードストラップ
- スパナ大
- スパナ小

### ●特別付属品(別販売)

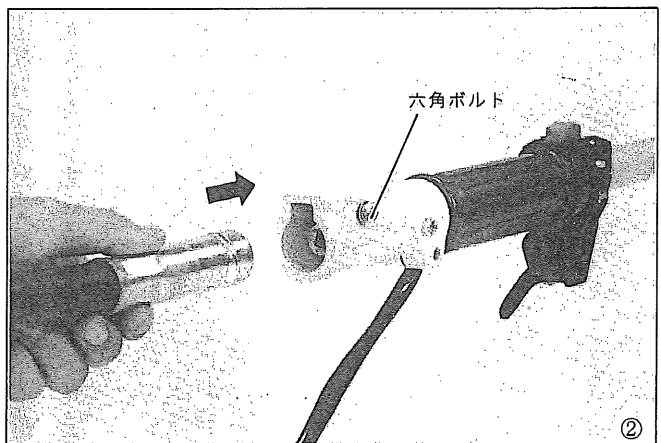
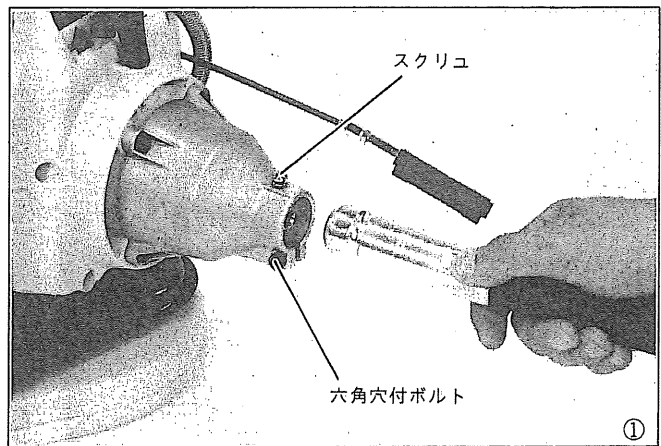
- 4枚刃
- ナイロンオートカッターA
- あんぜんローター (EK-1001)

# 使用準備

輸送のため、エンジン部、フレキシブルライナー、操作桿に分割して梱包してあります。次の手順に従って組立て下さい。

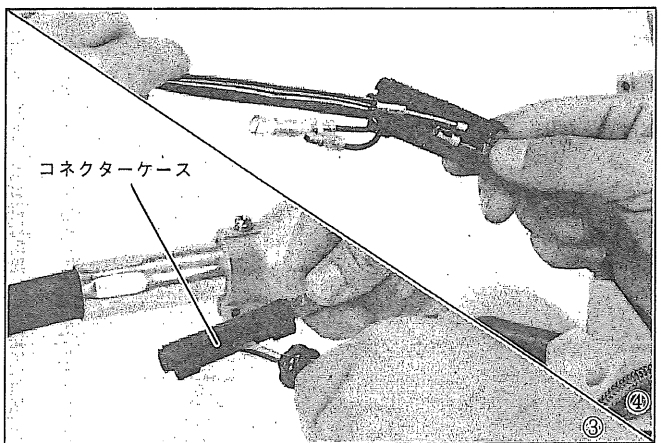
## ●フレキシブルライナー取付け ①②

- ・スクリューをはずし、フレキシブルライナーの片側の端をクラッチハウジングに差込みます。
  - ・スクリューをライナーのU溝に入るように完全にねじ込みます。
  - ・それから、付属の六角棒スパナで六角穴付ボルトを締込みフレキシブルライナーを組付けます。
  - ・次に操作桿のジョイントの六角ボルトをはずします。
  - ・操作桿にライナーの残った端を差込みます。なお、こちらもボルトがライナーのU溝にかかっていることを確認して下さい。
  - ・その後、ボルトを差込み、完全に締め付けて組み付けます。
- ※フレキシブルライナーは、クラッチハウジング側、操作桿側のどちら側に差込んでかまいません。
- ※ライナーをはずす場合は、逆の手順で行なうようにして下さい。
- ※ライナーの中のフレキシブルシャフトを抜き落とさないよう注意して下さい。



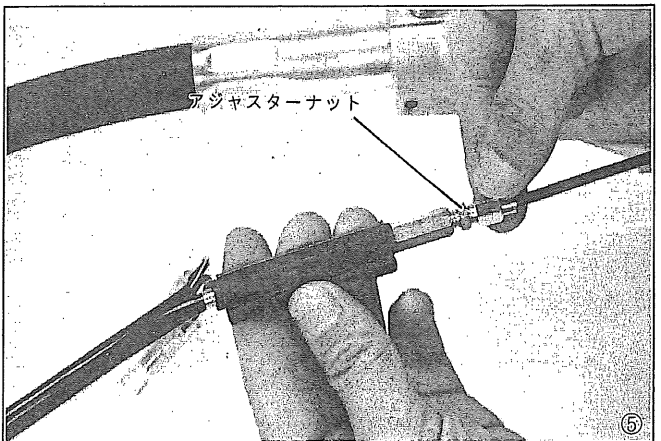
## ●スロットルワイヤーの取付け ③④

- ・コネクターケースを開きます。この時コネクターケース▼部にードライバーを差込んで開けて下さい。
- ・操作桿側のスロットルワイヤー先端をエンジン側スロットルワイヤー先端に引っかけます。
- ・コネクターケースをカチッと音がするまではめ込みます。
- ・この時、スロットルレバーがスムーズに動くかどうか確認して下さい。もし、動かない場合は、もう一度コネクターケースを開け、スロットルワイヤー先端がきちっとはまっているかどうか確認して下さい。



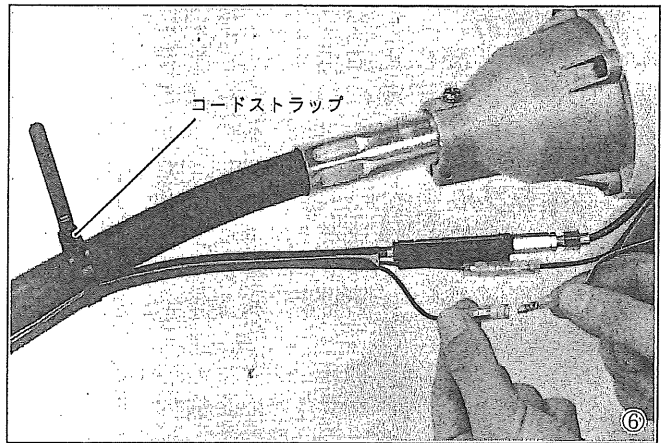
## ●アジャスターの調整 ⑤

- ・アジャスターナットを緩め、アジャスターを回して調整します。
- ・この時、スロットルレバーに0.5～1mm程度遊びがあるように調整して下さい。
- ・アジャスターの調整は必ずエンジンを止めて行なって下さい。



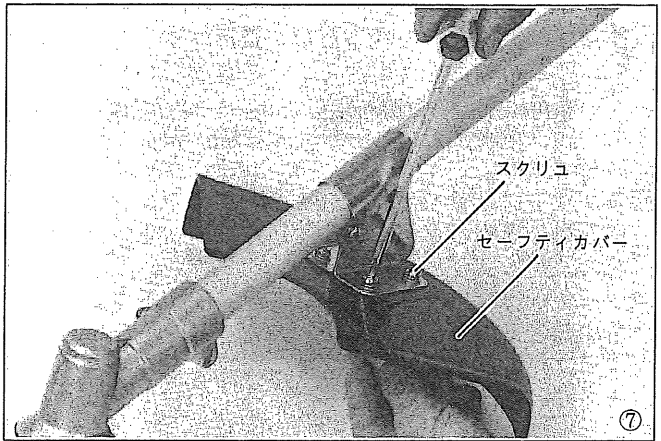
●リードワイヤーの取付け ⑥

- ・エンジン側のリードワイヤー端子と、操作桿側の端子を接続して下さい。
- ・この時、リードワイヤー端子が、きちっと接続されているか十分確認して下さい。
- ・附属のコードストラップで、フキシブルライナーにワイヤーを固定して下さい。



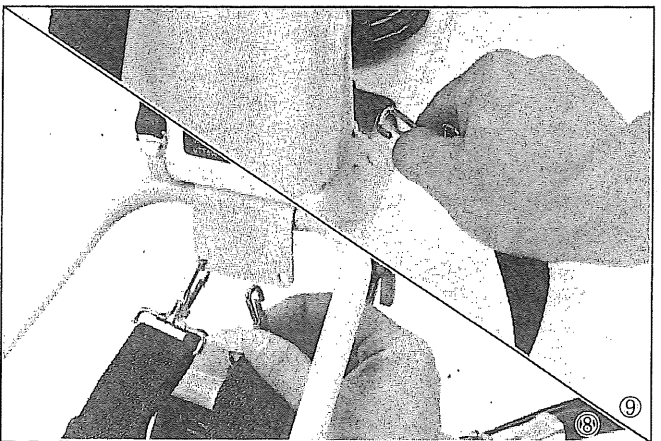
●セーフティカバーの取付け ⑦

- ・図のように4本のスクリュでセーフティカバーを取付けます。



●ショルダーバンドの取付け ⑧⑨

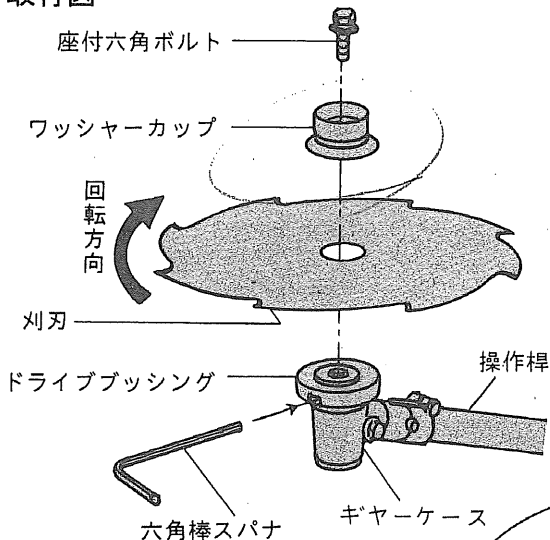
- ・附属のショルダーバンドを本体に取付けます。



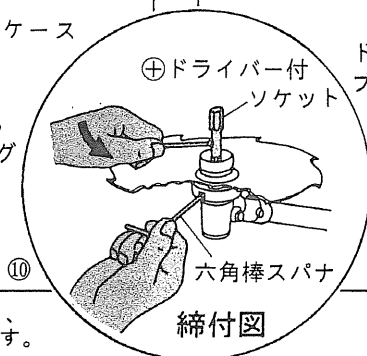
●刈刃の取付け ⑩⑪

- ・刈刃の取付けは、図のように取付けて下さい。
- ・刈刃の締付けは、附属工具の六角棒スパナでギヤケースとドライブブッシングを同時に固定し、軸が回らないことを確認して下さい。次に+ドライバー付ソケットで刈刃の押さえボルトを締付けます。左ねじです。(締付けは反時計回りです。)(締め付けトルク1.5kg-m)

取付図

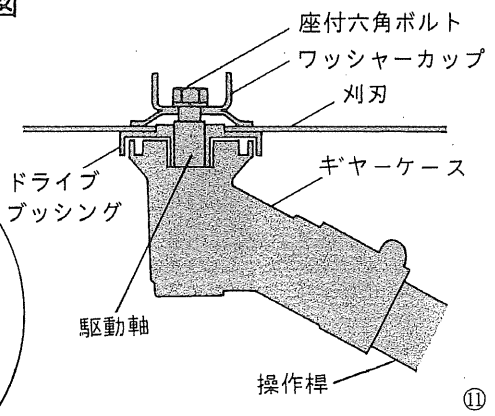


- ⑩ ● 刃物の回転方向に注意して下さい。
- 六角棒スパナはドライブブッシング固定時のみ使用して下さい。刈刃締付け後は必ずはずして下さい。



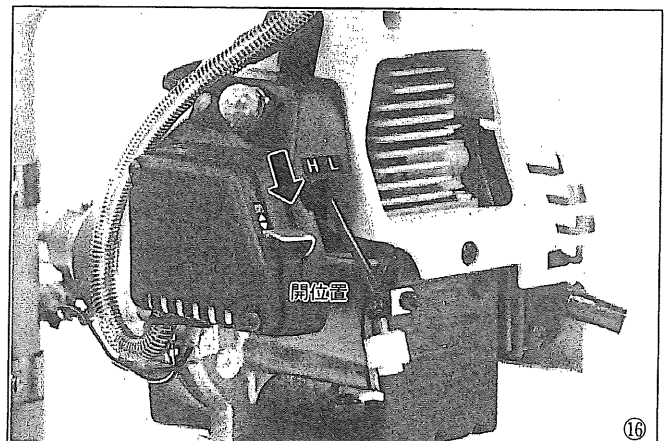
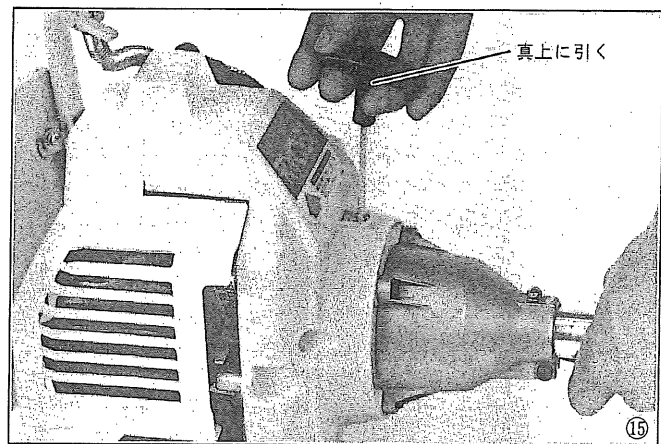
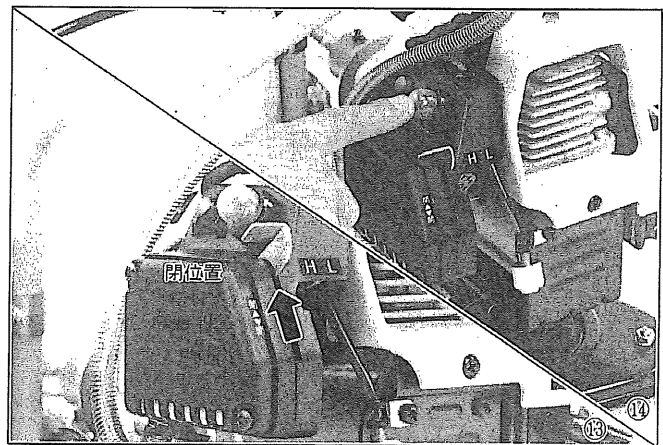
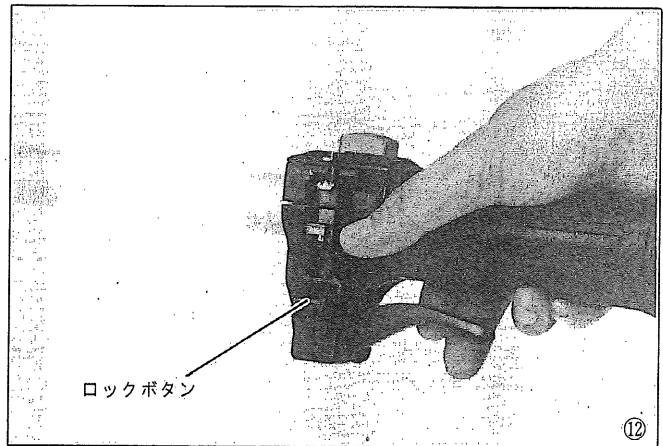
⑪ 締付図は六角棒スパナが見えるよう、刈刃をカット図にして記載しています。

概略断面図



## ● 始動

1. エンジンが手でさわれる位冷えている時。
  - ・ 燃料を燃料タンクに入れて下さい。
  - ・ 燃料コックを開いて下さい。
  - ・ 操作桿のスロットルレバーを引いた状態でロックボタンを押し、スロットルレバーがややかかった（開いた）状態にします。⑫
- ◎ エンジンが暖まっている時（停止後15分以内）はチョークレバーや始動ポンプ操作は不要です。
  - ※ 操作桿のストップスイッチがスタート側にあることを確認して下さい。
  - ※ チョークレバーを全閉の位置（閉）にして下さい。⑬
2. 始動ポンプを数回押し燃料を送ります。⑭
3. リコイルスタータを最初の爆発音がするまで引いて下さい。⑮ ブルンという爆発音がしエンジンが止まります。（素早く引く）
  - 〈注意〉
    - ・ リコイルスタータのロープの長さを確認した後、全長の7～8割位で使用するよう心掛けて下さい。全部を引いてかけますと引きちぎる恐れがあります。
4. チョークレバーを全開の位置にしてリコイルスタータを引いてエンジン始動して下さい。⑯⑰
  - 〈注意〉
    - ・ リコイルスタータを10～15回引いてもエンジンが始動しない場合は※印の項に戻り操作を繰り返して下さい。
5. 始動後30秒くらいそのまま暖機運転して下さい。その後、スロットルレバーを戻して下さい。
  - 〈注意〉
    - ・ 爆発音を聞き逃しチョークレバーを全開でリコイルスタータを何回も引いた時はチョークを全開にし、スロットルレバーをいっばいに開けリコイルスタータを引いて下さい。
    - ・ その場合、爆発音を聞き逃してから、リコイルスタータを引いた回数あるいはその回数の2倍（10～15回）近く引かないと始動しません。
    - ・ 上記のように燃料が吸い込み過ぎの状態になった時は回復が大変ですから御注意下さい。
  - 〈注意〉
    - ・ エンジン始動の時機械をしっかり押さえ、周囲の人などにも十分注意し、刈刃のそばの石や障害物もさけるようにします。
    - ・ エンジンが始動すると同時に刈刃が回りはじめますので十分に気を付けて下さい。



## ●運転と停止

### ・運転

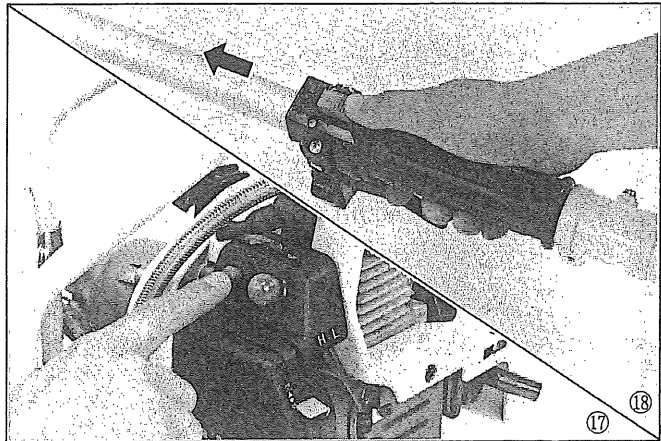
- 低速運転の後スロットルレバーを徐々に開け、エンジンの回転を上げてゆきます。

### ・停止

- スロットルレバーを戻し低速で冷却運転をしばらくつづけてから、停止スイッチをエンジンが完全に止まるまで押して下さい。⑰⑱

〈注意〉

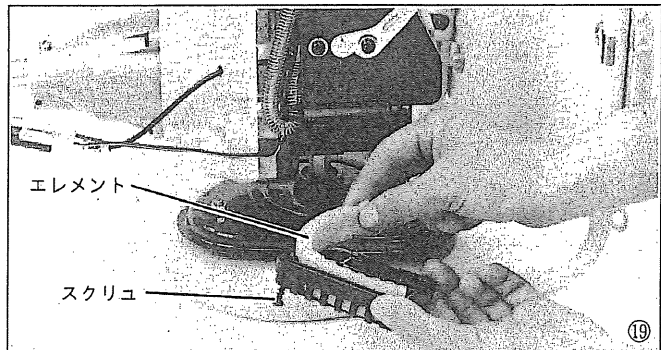
- ・エンジンの最高回転はおよそ8000回転/分となりますが、中速以上で空回転（刈払い作業をしない状態）を続けると故障の原因となりますので、みだりに回転を上げないで下さい。



## ●点検と整備

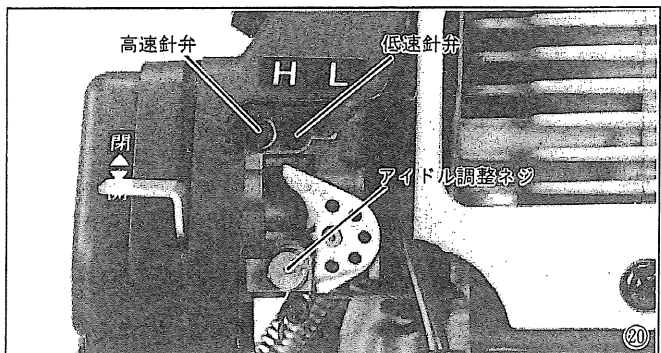
### ●エアークリーナー

- ・エアークリーナースクリュをゆるめ、エアークリーナーを取りはずします。
- ・エレメントの汚れを点検します。軽くゴミを払うか、汚れのひどいときはガソリンで洗い、乾いてから使用します。⑲



### ●気化器

- ・出荷時には燃料が最適に供給されるように調整してありますから、不必要に燃料調整針弁を動かさないで下さい。
- ・燃料調整針弁を静かに回して調整します。（右に回すと閉じる方向です）
- ・調整の標準は調整針弁を全閉にしたところから戻し  
低速針弁（スローニードル）：1 1/2 ± 1/4 回転  
高速針弁（ハイスピードニードル）：1 1/2 ± 1/4 回転  
としたところとなっています。⑳
- ・アイドル調整ネジ  
アイドル調整ネジを左右に回し、低速回転を調整します。㉑  
刈刃が回っては回転数の上げすぎです。

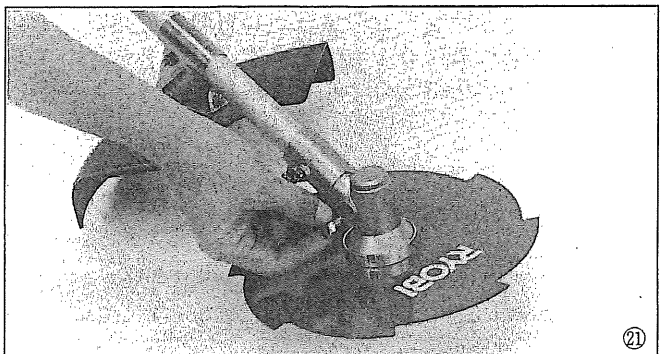


### ●ギヤーケースの給油

- ・使用50時間前後に給油口のみたを外し給油して下さい。（グリス# 2を使用下さい。）㉒  
六角ボルト対辺13mm

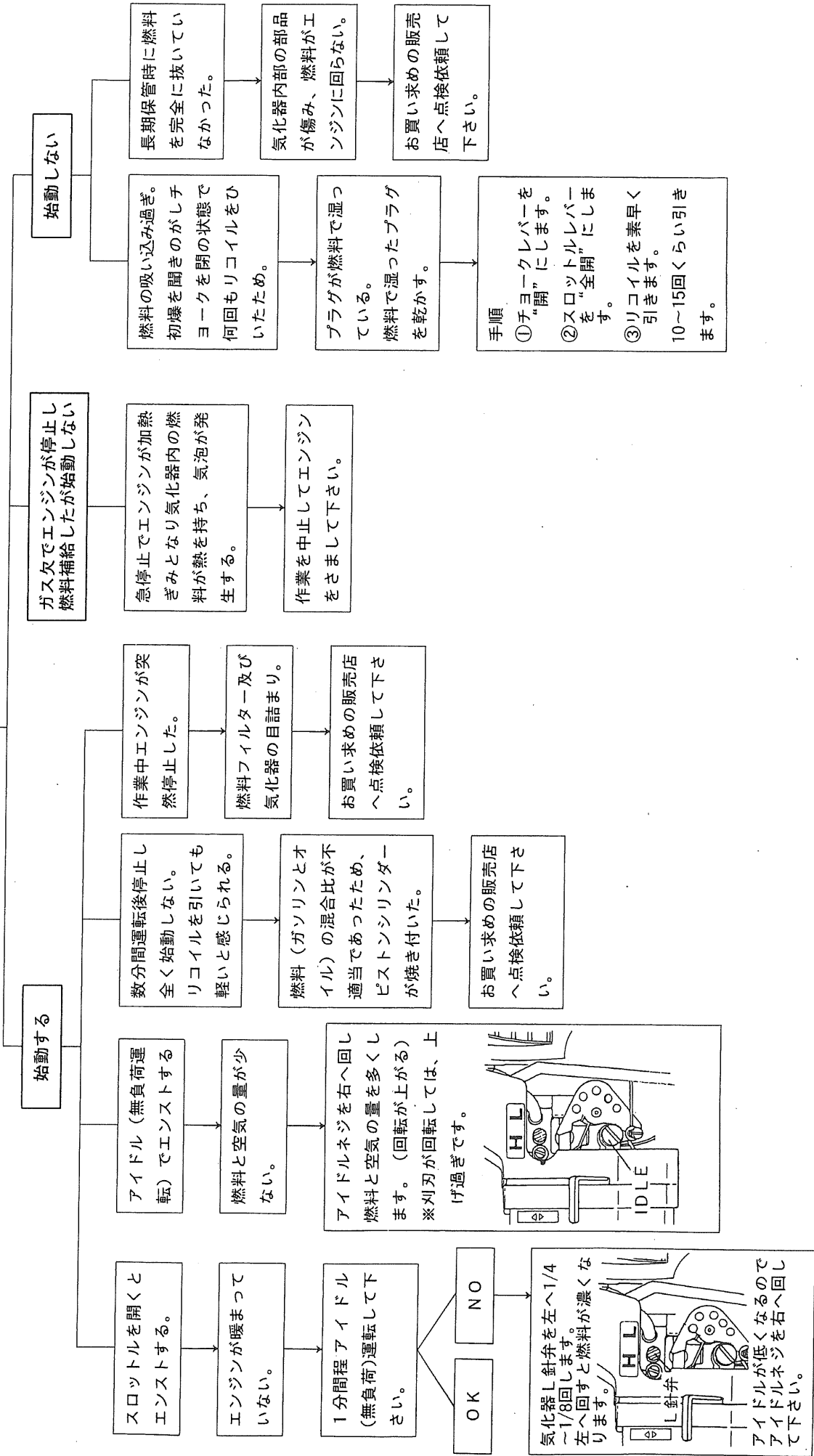
### ●フレキシブルシャフトへのグリスの補給

- ・使用20時間毎にフレキシブルライナーのインナーへグリスを塗り込んで下さい。



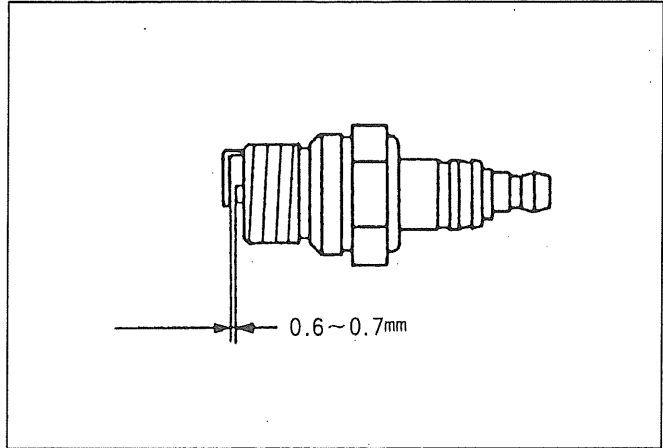


トラブル時のチェックリスト



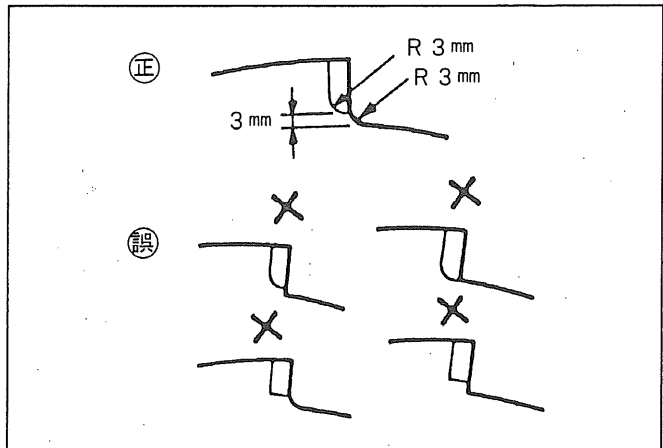
### ● スパークプラグ

- ・ スパークプラグの適正な電極間隔は0.6~0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用下さい。



### ● 8枚刃の研ぎ方

- ・ 刃の付根部には必ず「マルミ」を付けて下さい。「マルミ」を付けないと使用中刃の付根部から割れを生ずることがありますからよく注意して下さい。
  - ・ 刃付根部は刃の先端から約9mmとり、付根の「マルミ」の部分には刃を付けないで下さい。
  - ・ 各刃は均等に研いでバランスのよいものを使用します。
- 〈注意〉
- ・ グラインダを使用して研ぐときは急に水などに投げ入れて冷却してはいけません。欠け割れのある刈刃は新しいものに取替えて使用して下さい。



発売元



リョービ販売 株式会社



リョービ 株式会社